



平成24年4月23日

各位

タツタ電線株式会社  
 (代表者名) 取締役社長 木村 政信  
 (コード番号5809 東証・大証第1部)  
 (問合せ先) 常務取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎  
 TEL (06) 6721-3011 (代表)

特別損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年2月2日に公表しました平成24年3月期通期累計期間(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の連結業績予想について下記の通り修正いたします。

1. 特別損益の発生見込みについて

① 減損損失の計上

保有する使用資産のうち、収益性の低下が見込まれる電線製造設備について、今後の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、減損損失6億2百万円を特別損失に計上する見込みです。

② 電線事業構造改善費用の計上

電線事業の構造改革に備えるための費用として1億5千万円を予定(平成23年10月20日発表)していましたが約3千5百万円増額し、1億8千5百万円を特別損失に計上する見込みです。

③ 子会社の厚生年金基金からの脱退に伴う特別損失の計上見送りについて

当社の100%子会社である中国電線工業株式会社は、現在加入中の総合設立型の「西日本電線工業厚生年金基金」について平成23年12月28日開催の同社取締役会において脱退を決議し、その脱退に伴う特別損失85百万円の計上を見込んでおりましたが、同基金代議員会の同意が得られていないため、平成24年3月期における特別損失の計上は行いません。なお脱退に関する今後のスケジュールは未定です。

④ 貸倒引当金戻入益の計上

得意先の財政状態の悪化に伴い設定している貸倒引当金について、当該得意先の収支改善に伴う設定額の見直しにより当第4四半期において貸倒引当金戻入益5千万円(通期累計期間では1億9千万円)の計上を見込んでおります。

2. 平成24年3月期 通期累計期間(平成23年4月1日～平成24年3月31日) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年2月2日発表)	43,400	2,500	2,530	1,650	25円86銭
今回発表予想(B)	45,800	3,340	3,340	1,870	29円31銭
増減額(B-A)	2,400	840	810	220	—
増減率(%)	5.5%	33.6%	32.0%	13.3%	—
(ご参考) 前期実績	43,239	2,362	2,422	560	8円79銭

修正の理由

スマートフォン向けの電子材料需要が好調であり、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みであります。また、減損損失等の計上により特別損失が増加する見込みですが、経常利益の増加がこれを上回ることにより、当期純利益についても前回予想を上回る見込みであります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。 以上